







第7回 迎陽(げいよう)トンネル

問合せ：区役所企画調整係(電話：045-847-8319、FAX：045-846-2483)

日野南4丁目から野庭町に抜けるは、かつての武蔵国と相模国の境に位置するトンネルです。

トンネルができる前、日野(武蔵国)と野庭(相模国)はすぐ隣にもかかわらず、急で狭い山道を越えなければ行き来できず、歩くにも馬車で通るにも大変で、雨が降ると通行できないほどでした。そこで、1908年(明治41年)に、意を決した地元住民と当時採掘を始



-  [港南区イベントカレンダー](#)
-  [区民生活・防災マップ](#)
-  [暮らしのガイド](#)
-  [福祉保健センターからのお知らせ](#)
-  [区庁舎再整備](#)
-  [公共機関へのリンク](#)

～子育てを一緒に～

7つの市立保育園



ふるさと港南
お役立ちマップ



めた野庭炭鉱の亜炭業者が協力し、このトンネルを完成させました。まだブルドーザーや掘削機などがなかった時代。工事はつるはしなどを使った手掘りで行われ、完成までに7年もかかったそうです。完成後は、人や車の往来だけでなく、亜炭の運び出しなどにも使用され、1978年(昭和53年)には現在の形に改修されました。

「迎陽」というすてきな名前は、トンネルから日の出が望めたことにちなんで、完成時に名づけられたそうです。

豆知識: 亜炭とは

炭化が十分に進入でない、品質の低い石炭。不純物や水分を多く含み火がつきにくいいため、当時も工業用ではなく家庭用燃料だったといわれています。区内では、主に明治末期から大正期にかけて最戸、日野、野庭町などで採掘されましたが、燃料不足のために一部は戦時中にも再び掘られたようです。採掘はトンネルと同じく手掘りで、横穴を約1,000メートルも掘っていたそうです。

港南区サイトについて



RSS



[リンクについて](#)



[プライバシーポリシー](#)



[著作権について](#)



携帯電話からも港南区役所のホームページがご覧いただけます